

せんげんやま 浅間山コース

千条の滝でマイナスイオンを体感し、山頂から大パノラマを満喫!



歩いて、未病を改善!
箱根町 No.52
神奈川県・県西地域ウォーキング

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪



アクセス

Sスタート 箱根登山鉄道「小涌谷駅」

Gゴール 箱根登山鉄道「小涌谷駅」

※箱根町観光協会のホームページ▶



※富士箱根伊豆国立公園
箱根地域内における歩道利用ガイドライン▶

歩行距離

4.1 km

歩行時間

1時間31分

消費カロリー

341 kcal

高低差

273.1 m

歩数

5,421歩

コースの魅力

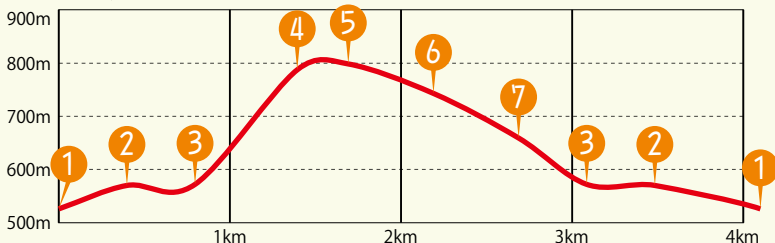
【景観】浅間山山頂から眺める相模湾・三浦半島・房総半島、千条の滝 【温泉】小涌谷温泉



途中で
トイレがない
短めの
コースだよ



標高グラフ



コースの概要

自然あふれる道を歩ける心地良いコースです。浅間山山頂からは眺望が開け、相模湾や三浦半島、晴れた日には房総半島まで見渡すことができます。江戸時代、富士への信仰から浅間信仰が盛んとなり、富士山の見えたこの山の中腹に「浅間神社」を祀るようになってから「浅間山」と呼ばれるようになりました。山頂は芝生が広がり、休憩のできる場所になっています。

箱根火山の地質を楽しもう!

ジオサイト



千条の滝

蛇骨溪谷の上流部である小涌谷には、水が千の糸となって流れ落ちるように見えることから千条の滝と呼ばれる滝があります。幅20m・高さ3m程の滝で、苔むした岩肌をよく観察すると、角の取れた大小様々なレキから構成されています。この地層は約4万年前に神山が崩れた時に流れてきた堆積物と考えられています。



車窓から見る景色も魅力!

出山鉄橋

小涌谷駅までの行程で電車に乗ると、「塔ノ沢」から大平台方面へ数分の所で「早川橋梁」をみることができます。この橋は別名「出山鉄橋」とも呼ばれ、国の登録有形文化財に登録されています。四季折々の表情を見せる車窓の景色、広がる大パノラマを楽しんでみてはいかがでしょうか?



※歩行時間は、箱根町のデータを参照。 ※歩行距離、高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

※掲載情報は、令和8年2月現在のものです。



ウォーキング MAP



ひと足のばして〜蛇骨溪谷
蛇骨溪谷は箱根宮ノ下の西に位置し、ナトリウム塩化物泉の底倉温泉が湧いています。「蛇骨」の名前の由来は温泉に含まれるケイ素が沈着してできた珪花が白くたまり、蛇の骨のように見えることにあります。この湧泉群のひとつに、1590年に豊臣秀吉が小田原攻めの最中に家臣をつれて入ったと伝えられる「太閤の石風呂」があります。



蛇骨川の新緑

ルールとアドバイス

- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
- 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
- 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
- 4 水分の補給をこまめにしましょう
- 5 日没までに下山できる余裕のある計画にしましょう
- 6 山の天気は急変するので、レインウエアを持参しましょう

ジオサイトって？
箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりで楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。



ひと足のばしてみよう！



堂ヶ島

箱根宮ノ下付近の早川がつくる急峻な溪谷の谷底に位置し、箱根火山ができるはるか前の約400万年前に海でできた地層が現れています。この地層からは温泉が湧きだしており、「箱根七湯」のひとつに数えられています。室町時代の高僧・夢窓国師が閑居したという「山居山」が伝わり（現在は場所を移転）、歴史の古さを物語っています。



火山の恵みを楽しもう！



箱根温泉

箱根温泉の歴史は古く、特に湯本温泉は奈良時代の開湯と伝えられています。江戸時代の初期には七つの温泉場が確認され、「箱根七湯」と総称されていました。明治時代以降は温泉技術の発達とともに開発が進み、現在では箱根十七湯※となりました。箱根温泉は泉質が豊富で「温泉のデパート」とも呼ばれています。※数え方はいくつかあります。

